

松城精神の誇りを胸に

県立村松高等学校長
渡辺 欣彦



本校は、明治44年、新潟県立村松中学校として誕生し、今年で107年目を迎えた伝統校です。創立以来、2万1千有余名の卒業生を世に送り出し、歴史と伝統を重ねてきました。明治、大正、昭和、そして平成と時代が進展し、社会や価値観が変わっても、伝統は今日まで脈々と受け継がれています。

本校の煉瓦造りの正門は、平成20年3月に国の登録有形文化財に登録されており、旧制中学校時代から、威厳高く、どっしりと本校の生徒を見守り続け、同窓のシンボルとなっています。

また、平成23年には、創立100周年記念事業として、正面玄関前に記念碑を建立し、その正面には「誇りを胸に」、裏面には「創立以来培われてきた『誠を尽くし、志をたて、必ず実行する』という松城精神が先輩から先輩へ受け継がれている」と刻まれています。

松高は、先輩方が築いてこられた伝統の重みをしっかりと理解し、その伝統を誇りに、更に伝統を力に変えて、新たな歴史のページを刻んでいきます。